



中野 晴啓からのメッセージ

米大統領選はトランプ勝利となり、米株式市場はトランプ新政権を先取りしてのトランプラリーと称したハシヤギ相場を演出し最高値圏に。しかし拡大財政方針や関税強化、それに移民排斥政策など、総じて選挙公約は米経済にインフレを再燃させる可能性を強く孕んでいます。

既に米長期金利はそれを見越して上昇基調で、株式市場の焦点がインフレ懸念に転じたなら、大きな調整局面に転換し得ます。ここから暫しはトランプ氏の発言毎に、或いは新政権の政策実効性の度合い次第でマーケットは大きく右往左往を強いられる変動相場となりましょう。

国内は石破政権の不安定感が来年の選挙まで続くであろう中で、当面の景気喚起に向けた財政出動に株式市場の期待が集まりそうです。

といった目先の相場見通しはそれなりに興味をそそられますが、私たち長期投資家にとっては投資対象の将来に向けた事業価値を綿密に点検すべきであり、ステイを前提とした大事な局面です。足元では各企業の株価がマーケットの右顧左眈に振り回されることもあります。将来価値を見据えた長期投資家には雑音に過ぎないことを改めて肝に銘じて進んで参りましょう！

なかのアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 中野 晴啓

ポートフォリオマネージャー居林 通より

なかの世界成長ファンド
ポートフォリオマネージャー
居林 通

11月上旬の米国の大統領選挙の結果を受けて、第二期トランプ政権が発足しますが、今後の米国の財政・金融・外交政策が大きく変わる可能性があります。トランプ新政権の示している経済政策は、法人税の引き下げなどは経済にプラスに働くと見られますが、非常に高い関税率はインフレと需要の減退を招いてしまうかもしれず、プラスとマイナスが入り混じった状態です。

このような状態でも、なかの世界成長ファンドのポリシーは揺るぎません。引き続き、強い競争力と高い成長性を兼ね備えた企業が長期的に見れば大きく上昇すると考えています。

第二期トランプ政権は対中国に対する厳しい姿勢を取るでしょう。前回のトランプ政権とは違うことは、すでに中国はこれらのことを予測して、国内の経済政策を非常に景気刺激的なものに変更したことです。米中の貿易問題は再燃するかもしれませんが、我々は中国が大きな内需を生かした経済政策を取ることで世界景気が大きく落ち込むことはないと考えています。そのため、ある程度の中国銘柄への投資も維持してゆきたいと考えています。今後とも、なかの世界成長ファンドをよろしく願いいたします。

※ コメントの内容は過去の市場環境、運用実績および投資行動であり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではありません。
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

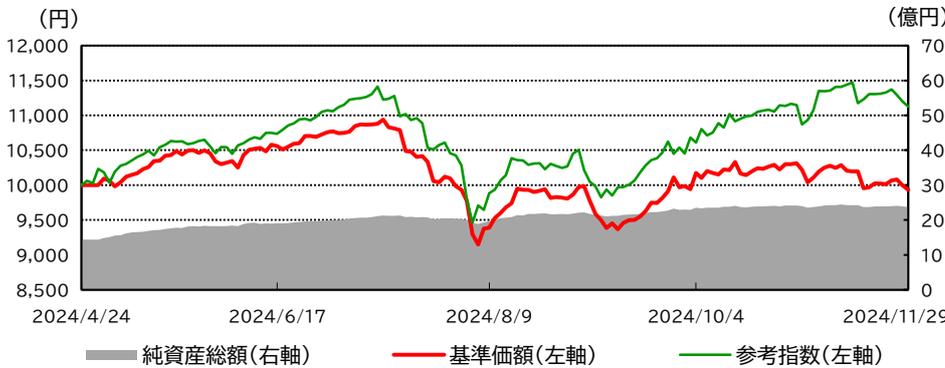
お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

設定・運用は **なかのアセットマネジメント株式会社**
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会
ホームページ: <https://nakano-am.co.jp/>



今月のなかの世界成長ファンドの基準価額は欧州企業の株価が不振であったこと、為替が155円から150円まで円高に振れたことなどから、やや低下しました。第二期トランプ政権の政策が世界の株価にどのような影響を与えるのかが注視されますが、プラスとマイナスが混ざりあっている状態で、株価はトランプ政権スタートからしばらくは大きく変動する可能性があるものと見ます。大きく下がる局面では、組入率を引き上げることも考えています。(居林 通)

●基準価額及び純資産総額の推移(2024年11月末現在)



基準価額	9,932円
純資産総額	23億円

※ 基準価額は信託報酬控除後の価額です。
 ※ 参考指数は「MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・円換算ベース)」であり、設定日の値を10,000円として計算しています。MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・ドルベース)をもとに、委託会社で円換算しています。
 ※ 純資産総額は、単位未滿を切り捨てて表示しています。

●騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
当ファンド	-3.7%	1.3%	-4.0%	-	-	-	-0.7%
参考指数	-0.2%	8.3%	6.4%	-	-	-	11.2%

※ 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

●資産の組入比率

なかの世界成長マザーファンド	93.5%
現金等	6.5%
合計	100.0%

●分配金実績(一万口当たり、税引前)

決算期	分配金	設定来合計
-	-	-
-	-	-
-	-	-

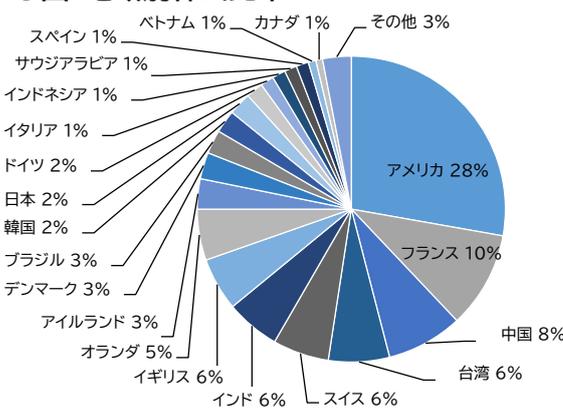
※ 運用状況により分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

●基準価額の変動要因(前月末比)

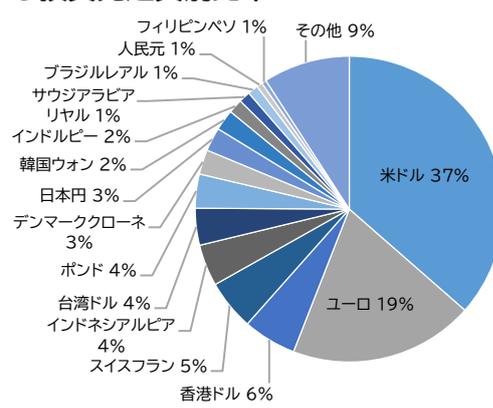
基準価額の変動額	金額
ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-グローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)	-381円
コムジェスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)	3円
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)	-87円
アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)	-156円
アライアンス・バーンスタイン SICAV-グローバル・グロース・ポートフォリオ	-137円
信託報酬・その他	1円
	-5円

※ 上記はあくまで概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ※ 項目ごとに円未滿は四捨五入しており、合計が基準価額の変動と一致しない場合があります。

●国・地域別株式比率



●投資先通貨別比率



※ 「国・地域別株式比率」、「通貨別比率」は2024年10月31日のデータをもとに11月29日現在の投資ウェイトで当社が計算しております。
 ※ その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

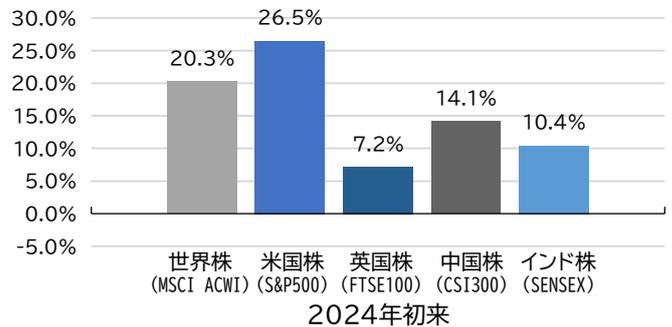
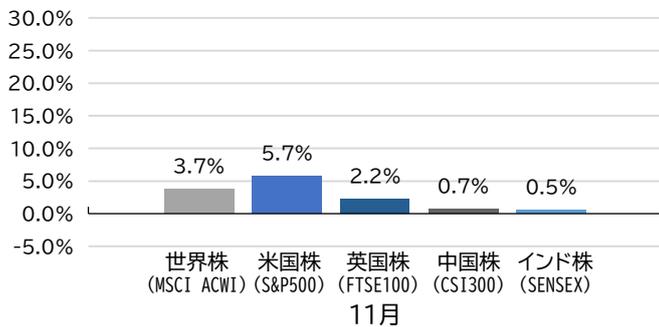


●組入ファンドの概要(なかの世界成長マザーファンド)

順位	銘柄名	運用会社	組入比率
		ファンド概要	
1	コムジェスト世界株式ファンド (適格機関投資家限定)	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社	32.5%
		世界の企業を対象に徹底したファンダメンタル分析に基づいて、高い利益成長が期待される企業を中心に、集中投資します。	
2	アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)	アライアンス・バーンスタイン株式会社	26.2%
		新興国の企業を中心に投資を行います。景気サイクルによる利益成長ではなく、構造的な成長機会を重視しています。	
3	コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90 (適格機関投資家限定)	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社	22.9%
		主としてヨーロッパの企業を対象に、高い利益成長が期待される企業を中心に個別銘柄を選定し、信託財産の成長を目指します。	
4	ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV ーグローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)	ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド	12.7%
		主として海外の社会と環境にプラスになる事業を行い、株価が将来にわたって上昇すると期待される企業に投資するファンドです。	
5	アライアンス・バーンスタイン SICAV ーグローバル・グロース・ポートフォリオ	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー	5.4%
		主として新興国を含む世界各国の株式等に投資します。長期で優れた利益成長を達成する可能性が高い企業に厳選投資します。	
	現金等		0.2%

<ご参考>

●地域の代表的な株式指数の騰落率



※ 上記の指数は現地通貨ベースです。

●為替レートの推移(米ドル/円)



※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



●なかの世界成長ファンドに組み入れている上位20銘柄(2024年9月末現在)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率
1	ASML HOLDING NV (ASMLホールディング)	オランダ	情報技術	4.6%
2	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd. (台湾セミコンダクター)	台湾	情報技術	4.1%
3	ESSILORLUXOTTICA (エシロールルックスオティカ)	フランス	ヘルスケア	2.9%
4	ALCON INC (アルコン)	スイス	ヘルスケア	2.6%
5	EXPERIAN PLC (エクスペリアン)	イギリス	資本財・サービス	2.5%
6	MICROSOFT CORP (マイクロソフト)	アメリカ	情報技術	2.5%
7	LINDE PLC (リンデ)	アメリカ	素材	2.2%
8	Novo Nordisk A/S(ノボ・ノルディスク)	デンマーク	ヘルスケア	2.1%
9	ACCENTURE PLC(アクセンチュア)	アメリカ	情報技術	2.0%
10	ELI LILLY & CO (イーライリリー)	アメリカ	ヘルスケア	1.9%
11	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE (LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン)	フランス	一般消費財・サービス	1.8%
12	Tencent Holdings Ltd.(テンセント・ホールディングス)	中国	コミュニケーション・サービス	1.7%
13	INTUIT INC (インテュイット)	アメリカ	情報技術	1.7%
14	L'OREAL (ロレアル)	フランス	生活必需品	1.5%
15	Sika AG (REG) (シーカ)	スイス	素材	1.4%
16	JOHNSON & JOHNSON (ジョンソン・エンド・ジョンソン)	アメリカ	ヘルスケア	1.4%
17	ADYEN NV (アディエン)	オランダ	金融	1.4%
18	VISA INC(ビザ)	アメリカ	金融	1.3%
19	S&P GLOBAL INC (S&Pグローバル)	アメリカ	金融	1.3%
20	SCHNEIDER ELECTRIC SE (シュナイダーエレクトリック)	フランス	資本財・サービス	1.3%

※ 上記はデータが入手できる2024年9月末現在の情報です。
※ 重複上場している株式については合算して記載しております。
※ 「銘柄名」および「国・地域」は当社の判断で表示しています。
※ 「業種」はGICS(世界産業分類基準)によります。
※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



●各ファンドの組入上位5銘柄

コムジェスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	マイクロソフト	アメリカ	情報技術	7.2%	1.7%
2	台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	6.3%	6.0%
3	イーライリリー	アメリカ	ヘルスケア	5.5%	-17.0%
4	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	4.8%	-18.7%
5	リンデ	アメリカ	素材	4.5%	-3.3%

アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	台湾セミコンダクター	台湾	情報技術	8.8%	6.0%
2	テンセント・ホールディングス	中国	コミュニケーション・サービス	6.3%	4.2%
3	SKハイニクス	韓国	情報技術	3.6%	-7.8%
4	メイトウアン	中国	一般消費財・サービス	3.5%	42.7%
5	メディア・テック	台湾	情報技術	2.9%	1.2%

コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	ノボ・ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	7.3%	-19.3%
2	ASMLホールディング	オランダ	情報技術	6.5%	-18.7%
3	エシロールルックスオティカ	フランス	ヘルスケア	5.2%	7.3%
4	シュナイダーエレクトリック	フランス	資本財・サービス	4.9%	6.0%
5	アルコン	スイス	ヘルスケア	4.3%	-4.8%

ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAVーグローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	Eli Lilly	アメリカ	ヘルスケア	3.6%	-17.0%
2	Linde	アメリカ	素材	2.9%	-3.3%
3	Thermo Fisher Scientific	アメリカ	ヘルスケア	2.8%	-13.8%
4	Danaher	アメリカ	ヘルスケア	2.6%	-10.9%
5	Roper Technologies	アメリカ	情報技術	2.5%	2.3%

アライアンス・バーンスタイン SICAVーグローバル・グロース・ポートフォリオ

No.	銘柄名	国・地域	業種	組入比率	過去3ヶ月リターン
1	Amazon.com, Inc.	アメリカ	一般消費財・サービス	4.9%	16.5%
2	Microsoft Corp.	アメリカ	情報技術	4.8%	1.7%
3	Visa, Inc.	アメリカ	金融	3.7%	14.2%
4	ASML Holding NV	オランダ	情報技術	3.5%	-18.7%
5	Novo Nordisk A/S	デンマーク	ヘルスケア	3.4%	-19.3%

※ 原則、各運用会社からのデータを基に作成
 ※ 上記はデータが入手できる2024年10月31日現在の情報です。
 ※ 業種分類はなかのアセットマネジメントの判断によります。
 ※ 組入比率は、各ファンドの純資産総額を100とした場合の比率です。
 ※ 「過去3ヶ月リターン」は、現地通貨ベースで表示しています。
 ※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



～コラム～

投資家は企業経営を見る力が必要

投資家として企業の経営を判断することは、その企業の製品から競合相手まで俯瞰的に「知る」ことであり、同時に事業が過去から現在にどう変化したのか、これから未来にどう変化したいのかを「理解」することです。

企業経営というのは、航海をする船に似ていると思います。自らの目的地と経路を決め、必要な装備を準備して航海に出ます。遠い昔には、航海は一つの大きな投資でした。船の装備が不十分であれば嵐を切り抜けることはできないでしょう。十分な燃料がなければ目的地までは到達できないでしょう。船員のモチベーションが高くなければ船は走り続けられないでしょう。投資家としては、企業という船が航海をしてゆくだけの能力があるのかをまずは見極める必要があります。これが企業分析の第一の柱です。

しかし、自ら舵をとって進路を進むとしても思い通りに行くことは少ないものです。すなわち、自ら進む力を持つと同時に、予想外の風や波の影響を受けるのです。途中で航路を変更することを余儀なくされるかもしれません。これは事業運営には大きく二つの要因があることを示しています。一つは内部要因であり、もう一つは外部要因であります。内部要因は企業が相当程度コントロールすることが可能ですが、外部要因はコントロール出来ず、企業としては備えをしてその時々で「対応」することが必要です。その変化対応力が企業分析の第二の柱になります。これは、企業経営は「変化すること」がその定義の中に含まれることを意味します。

どのように変化することが正しいのでしょうか？ 正解はなく、あるのは企業の経営陣の考え方であり、信念であり、未来にありたい姿、です。その意味で経営陣の考えを理解し、その是非を判断することが投資家には求められるのです。これらが企業を「経営」から判断するためのフレームワークとなると考えます。(居林 通)





●運用チームから

氏名	役職	コメント
 中野 晴啓	代表取締役社長 最高投資責任者 (CIO)	なかのアセットには千葉県流山に社員寮兼研修所があります。自由闊達な運用会社たるべく、仕事場として、学び場として、或いはメンバーが気ままに活用して寝泊りも出来ます。殊に運用チームは頻繁にここで当社長期運用の根幹たる事業分析や業績予測の深掘りなどの勉強会をやっていて、経営ミーティングなども定期的にここでいりラックス議論を高めるなど、当社が大事にするワンチームの絆はここでも強化されています。長期投資家の皆さんもお招きしたいと思います！
 山本 潤	運用部長 兼 チーフポートフォリオ オマネジャー	インデックスが評価される展開が続き、クオリティ・グロース株が低迷。運用メンバーの表情も曇りがちです。生活に潤いを与える化粧品や生産性向上のために不可欠な最先端半導体や次世代パワー半導体の市場が低迷。しかし、長期で業績が2倍、3倍になる可能性を秘める保有先に対する信頼は変わっていません。「こっちの水(クオリティ・グロース)は甘いぞ！」と元気だけは負けないで、みなを鼓舞しつつ、深堀調査を粛々と続けています！！
 居林 通	運用副部長 兼 シニアポートフォリオ オマネジャー	当社では、東京の茅場町で毎月、運用部による報告会を行っています。主だった運用部のメンバーが出て、現状や注目している銘柄について熱い思いを語っています。ぜひ、お越しください。
 菅 淑郎	シニアポートフォリオ オマネジャー 兼 シニアアナリスト	10月の出雲駅伝で2度目の優勝を祝い、白いジャージ姿で陸上部学生たちの輪に加わろうとしていた弟がチラ。11月伊勢路内宮ゴールの全日本大学は大接戦で初優勝。片道106km超なのでアンカー選手を胴上げする部員が足りず、背広姿で堂々と胴上げを支える姿がシッカリ全国放送！元々応援部。こういう形で学生日本一の栄光に関わることになるうとは？！青学が強く、箱根駅伝優勝＝三冠は夢のようですが、新年も楽しみです。
 佐藤 栄二	ポートフォリオオマネ ジャー 兼 シニアアナリスト	コーヒー好きが高じて「コーヒーインストラクター3級検定」をとりました。こちらは、受講するだけで誰でも取得できます。知識が深まることで、今まで何も考えずに飲んでいたコーヒーがより一層味わい深くなりました。改めて「知る」ことの大切さを感じるとともに、いくつになっても好奇心を持ち続けたいな、と思いました。忙しい日が続いている中でも、コーヒードリップだけは「今、この瞬間」に集中できる大事な時間になりました。
 大月 天道	シニアアナリスト	カッコいい社名ってありますよね。どちらも製薬会社ですが、個人的にはGlaxo Smith KlineやBristol Myers Squibbが特にかっこいいと思っています。あとは、メガネレンズメーカーのEssilor Luxottica(エシロールルックスオティカ)も好きです。また、話は変わりますがアメリカにAgilentという分析装置の会社があります。同社のTickerはなんと「A」一文字です。「A」を代表しているような風格があり、これもカッコいいなと思いました。
 谷 亜矢野	アナリスト	そろそろ20代後半に差し掛かろうとしています。最近体の老いをひしひしと感じています。朝起きると頭やら喉やら吐き気やら、どこかが不調です。ちなみに体調万全の日が月に1週間くらいしかありません。体に気を遣ってゆるく玄米菜食を始め、体力増強のためにキックボクシングを続けています。友人も同じような体調らしく、同年代女性は同じ問題を抱えているのかもしれない。科学の発展で何とかならないかと他力本願です。
 関口 耕大	アナリスト	空の旅は怖いと感じますよね？数ユーロから乗れる格安LCCを使い倒し全欧を踏破して以来、気になり色々調べています。航空業界では事故を未然に防ぐべく何重にもフェイルセーフの仕掛けが組まれます。過去の痛ましい事故を教訓に調査方法も進化し、ハードのみならずソフトでも対策が取られ安全が確保されました。手術事故と隣り合わせの医療者もこれに学んで“チェックリスト”の利用を推奨。私も仕事に応用していきたいです！



●11月17日マンスリー運用報告会の様子



11月17日(日)マンスリー運用報告会@茅場町を開催しました！

【プログラム】

1. 「なかの日本成長ファンド」(山本 潤、佐藤 栄二)
 - ・運用状況について
 - ・エンゲージメント活動について 等
2. 「なかの世界成長ファンド」(居林 通、関口 耕大)
 - ・運用状況について
 - ・トランプ次期大統領の政策が経済に与える影響について
 - ・Feed Backシリーズ「半導体セクター」 等
3. 保有銘柄の紹介(大月 天道)
 - ・信越化学工業

<マンスリー運用報告会とは>

顔が見える運用会社として当社運用チーム全担当者による実際の企業調査内容や、運用現場においてどのように調査、議論、評価をして投資しているのかを皆さまにお伝えする場として実施しています。

【12月のセミナースケジュール】

10(火)@虎ノ門(東京都)
 16(月)@宇都宮(栃木県)
 21(土)@大阪(大阪府)
 22(日)@茅場町(東京都)

その他、随時開催のオンラインセミナーもございます♪

セミナースケジュールはこちら



<https://nakano-am.co.jp/seminar/>



【CIO探訪記】

～当社CIO(最高投資責任者)中野の見聞録～
【今月の総移動距離 4,436km】

11/2 (土) 長野

11/9 (土) 沼津

11/24(日) 佐賀

11/29(金) 盛岡

11/30(土) 青森



南は農業王国佐賀市の広大な平野と佐賀藩近代化に尽力した盟主たちの銅像を拝み、北に行けば青森や盛岡では雪が積もっていました。
青森の街の向こうに見えるのは八甲田山です。

新NISAではじまった2024年も残すところあと1ヶ月となりました。
まだまだ全速力で駆け抜けていきます。

～編集後記～

マンスリーレポートでは毎月テーマを変えて投資先銘柄に関するコメントが書かれていますが、最近は投資先企業の商品やサービスに出会うとつい目がいくようになりました。

スーパーではヤクルトや味の素に目がいきますし、エレベーターに乗ると点検した会社名、病院では置いてある機材に・・・等々。何気なく使っている商品やサービスですが自分が投資信託を通じて投資している会社だと思えば違った見方ができてより愛着が湧いてくるようになりました！(秋元 祐毅)



●ファンドの目的・特色

ファンドの目的

主として、内外の投資信託への投資を通じて、世界の成長企業に投資を行い、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。

ファンドの特色

- 1 世界の株式に投資することで、日本以外の魅力的な投資機会も捉えることを目指します。
- 2 長期の資産形成を目指して、長期視点で世界の成長企業(クオリティ・グロース企業)の株式に投資を行います。
- 3 多面的な調査を行った上で、長期的に成長が期待される企業に投資をするアクティブファンドに、割安と考えられるタイミングで投資を行うことを目指します。
- 4 原則として、為替ヘッジは行いません。

ファンドの仕組み

当ファンドは、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行います。

また、マザーファンドを通じて複数の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資するファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。

※ マザーファンドを通じて内外の投資対象ファンドに投資を行い、実質的に世界の株式等に投資を行います。

分配方針

毎決算時(原則として毎年4月24日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- ・ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
 - ・ 分配金額は委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
 - ・ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。
- ※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

●投資リスク

基準価額の変動要因

- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- ・ **信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。**
- ・ 投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの主なリスクは以下の通りです。

● 価格変動リスク

株式の価格は発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。また、債券の価格は市場金利や信用度等の変動を受けて変動します。ファンドはその影響を受け、組入株式や組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

● 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

● 為替変動リスク

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

● カントリーリスク

主要投資対象ファンドの投資対象国において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

● 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。



収益分配金に関する留意点

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

その他の留意点

- ・ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ ファンドは、大量の解約が発生し、短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- ・ 一般的に、時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落の要因となる場合があります。

リスクの管理体制

委託会社では、リスク管理規程や運用モニタリング規程等の社内規程において、リスク管理の対象となるリスク、リスク管理体制および管理方法等が定められています。

- ・ 委託会社は受託者責任を常に念頭に置いたうえで、投資信託の「投資リスク」を適切に管理するため、①運用部門において、投資信託の各種リスクを把握しつつ、投資信託のコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うこと、②運用部門から独立した管理部署によりモニタリング等のリスク管理を行うこと、を基本の考え方として、リスク管理体制を構築しています。
- ・ 委託会社では、流動性リスク管理に関して、投資信託の組入資産の流動性リスクのモニタリング等を実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証等を行います。委託会社の取締役会等では、流動性リスク管理を含めた実効的なリスク管理体制の整備、運用について監督します。

● 手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額(1万口当たり)とします。
換金単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
信託期間	無期限(2024年4月25日設定)
繰上償還	委託会社は次のいずれかの場合には、繰上償還することがあります。 <ul style="list-style-type: none">・ 純資産総額が10億円を下回ることとなった場合。・ 信託契約を解約することが投資者(受益者)のため有利であると認めるとき。・ やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として、毎年4月24日とします。(休業日の場合は翌営業日) 第1決算日は2025年4月24日とします。
収益分配	原則として、年1回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※ 販売会社との契約によっては再投資が可能です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 <ul style="list-style-type: none">・ 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。・ 当ファンドは、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。・ 配当控除の適用はありません。・ 益金不算入制度は適用されません。



ファンドの費用・税金

●ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- ・ 購入時手数料 **ありません。**
- ・ 信託財産留保額 **ありません。**

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	当ファンド	信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して、 年率0.605%(税抜0.55%) を乗じて得た額とします。運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
	投資対象ファンド	年率0.4%～0.9%程度(税抜) ※運用・管理報酬等の料率は投資対象ファンドにより異なります。
	実質的な負担	年率1.3%±0.2%程度(税込) ※投資対象ファンドの組入比率の変更などにより変動します。
その他の費用・手数料	監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他の費用・手数料は、その都度信託財産から支払われます。 ※これらの費用・手数料等については運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。	

※ 投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することはできません。

●税金

税金は表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時 および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」をご利用の場合

NISAは、少額上場株式等に関する非課税制度です。

NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 法人の場合は上記と異なります。

※ 上記は、2024年2月末現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

●委託会社およびファンドの関係法人

委託会社 ファンドの運用の指図を行う者	なかのアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページアドレス： https://nakano-am.co.jp/
受託会社 ファンドの財産の保管および管理を行う者	野村信託銀行株式会社

販売会社 ファンドの募集の取扱い等を行う者	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
第一生命保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第657号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社北國銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第5号	○		○	

●当資料をご利用にあたっての注意事項等

- ・ 当資料はなかのアセットマネジメント株式会社が作成した資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ・ 信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。
- ・ 当資料は、なかのアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・ 投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関で購入いただいた場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ・ 本資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。